



シリーズ  
日本  
再建

高嶺経済大学教授で  
日本教育再生機構理事長でもある  
八木秀次氏を講師に招き  
幸福実現党の教育部会を開催した。  
講義の一部を3回にわたり紙面掲載



# 高崎経済大学教授 八木秀次氏に聞く

# 日本の教育に流れる 「ソビエト教育学」の毒水③

(全3回)

(やぎ・ひでつぐ)1962年、広島県生まれ。早稲田大学法学部卒業。同大学院政治学研究科博士課程中退。専攻は憲法学、思想史。人権、国家、教育、歴史などについて保守主義の立場から幅広い言論活動を行っている。現在、高崎経済大学教授、日本教育再生機構理事長。『誰が教育を滅ぼしたか—学校、家族を蝕む怪しき思想』、『公教育再生—「正常化」のために国民が知っておくべきこと』(共にPHP研究所)など著書多数。

(注1)『クルップスカヤ選集1 生徒の自治と集団主義』(矢川徳光訳 明治図書 1969年)

(注2)『児童教育論』(クルップスカヤ著、榎利夫編訳、青木文庫、1978年)

(注3)『保育に愛と科学を』(広木克行著、北水、2000年)

ようものなら、「僕の安心」で起きる場所で体を休ませ及び余暇を持つ権利を侵害しているよ」という話になるわけですが、これでは教育もしつけもできません。

クルプラスカヤは1937年に書いた「就学前教育の資料への意見」という論文で、「わたしたちは子どもの権利を尊重しなければなりません」としながら、「休息の権利——子どもたちはすぐ疲れます」と述べています（注2）。

彼女は、子供の権利を保障することによって、子供たちに学校を自治的に運営させようといふ「生徒の自治」も主張しています。この理論は、戦後の保育にも非常に大きな影響を与えており、それに基づいて運営している保育園が全国至るところにあります。埼玉県のある保育園では、子供たちに園長はじめ先生方を呼び捨てにさせ、それが「自主・独立・自由の精神」だというのだから驚きます（注3）。

**マカレンコの  
集団主義教育**

皆さんのが小学生のとき、学級運営が班単位で行われませんでしたか。実はこれはソビエト教育学のもう一人の巨頭、マカレンコの教育手法です。

彼の考え方を取り入れて、「全国生活指導研究協議会」という団体が結成されました。この団体が、「学級集団づくり入門」という本を出し、これがマニュアルとなって、全国の小学校で班編成の学級運営がなされました。班に分かれて競争させるのです。

例えば、給食を食べる競争をさせ、早かった班をほめるのではなく、遅かった班を「ボロ班」「ビリ班」と呼んでなじる——マニユアル本にはそう書いてあります。そうすると「あいつが遅かったから自分たちは『ボロ班』になった」ということになり、一番遅かった子がいじめられるというわけです。

この集団主義教育が昭和40

年代、50年代あたりに非常にやり、結局、子供たちにいじめを奨励したのです。当時、急に校内暴力やいじめ自殺が発生するようになつた背景には、こうした教育実践があつたことを記憶に留めたいと思います。

## ソ連で実際に起きたこと

クルプスカヤの教育理論を実践したソ連社会では、どんなことが起きたのでしょうか。

1930年代、スターリンの指示で、モスクワなどの大都市で学校調査を行つたところ、生徒たちの間で暴力行為、刑事犯罪、集団レイプ事件が次々に起きていたことが明らかになりました。スターリンは「こんな教育をやつていたのでは国が傾く」と気づき、クルプスカヤを追放。一説によると、クルプスカヤはスターリンによつて肅清されたと言われています。そして、じぶんも当たり前の戦後のわが国の主流の教育

年代、50年代あたりに非常に多く、やり、結局、子供たちにいじめを奨励したのです。当時、急に校内暴力やいじめ自殺が発生するようになつた背景には、こうした教育実践があつたことを記憶に留めたいと思います。

## ソ連で実際に起きたこと

クルプスカヤの教育理論を実践したソ連社会では、どんなことが起きたのでしょうか。

1930年代、スターリンの指示で、モスクワなどの大都市で学校調査を行つたところ、生徒たちの間で暴力行為、刑事犯罪、集団レイプ事件が次々に起きていたことが明らかになりました。スターリンは「こんな教育をやっていたのでは国が傾く」と気づき、クルプスカヤを追放。一説によると、クルプスカヤはスターリンによって肅清されたと言われています。そして、ぐぐぐ当たり前の統制的な教育に戻しました。

戦後のわが国の主流の教育学はソビエト教育学を理想とし、最近では、その名前を出さずに、「ゆとり教育を推進する」だとか、「子どもの権利を守る」だとか言っています。しかし、かつてソビエト教育学を実践したソ連自身が散々な目に遭つたということを、基礎的な知識として皆さんに知つていただきたいと思います。それが今後、日本の教育が、あらゆる方向に進もうとする時の歴史になると考へているからです。

幸福の科学グループ創始者 兼 総裁  
幸福実現党創立者 兼 党名譽総裁

**大川隆法 幸福実現党の最新刊**

大川隆法

いま 増税」なら 日本は終わってしまう 沈みゆく日本をどう救うか

野田佳彦総理  
のスピリチュアル統合分析

国民もマスコミも知らない  
野田総理の窮屈な「バカ」

# 波立ゆく日本をどう救うか

野田君、君は松下政経塾の原点を  
忘れるな! もう一回「無税国家論」を  
勉強してほしい!

沈めぬ、日本をこゝ教へる  
野田佳彦総理のコントent テル全分析

◎ 幸福の科学出版 <http://www.irbpress.co.jp> ☎ 0120-73-7707 FAX.03-6384-3778 1,470 円以上 国内送料無料

幸福実現党が退廃する世相に鋭く切り込みます

メールマガジン HRP ニュースアーリー ぜひご登録ください。▼トコロは、p-mail@hp-hp.jp に至るルートを送信 ▼市電路は、0032-07-0777 にスタイル